

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

ファーストペンギン

本日二学期の終業式を迎えました。「**光陰矢の如し**」※ということわざがありますが、本当に月日の経つのは早いものです。二学期は、遠足やマラソン大会、また 3 年生はオーストラリア研修旅行、5 年生はヨーロッパ修学旅行にでかけました。様々な行事や取り組みがありましたが無事終了し、多くの成果を収めることができました。

6 年生はテストの翌日から大学入試対策講座が始まっています。また、他の学年は明日から冬期セミナー等が始まり、多くの生徒が登校します。三者面談も控えています。中々、冬休み気分にはならないと思いますが、時間を有効に使い充実した生活を送ってください。

さて、冬休み中に新しい年 2017 年（平成 29 年）が幕を開けます。新鮮な気持ちで新しい一歩を踏み出したいものです。そこで、「**ファーストペンギン**」について紹介したいと思います。「ファーストペンギン」というのは、群れの中で最初に海に飛び込むペンギンを指す言葉です。南極に暮らすペンギンたちが生きていくためには海の中から魚を獲る必要があります。そのため、陸で育ったペンギンは親ペンギンから海に入ることを教わります。ところが、大きな波が打ち寄せる海の中には、シャチやトド、オットセイなどの肉食獣が大きな口を開けて待ち構えており、多くのペンギンは怖くてなかなか入ろうとはしません。そんな時、一匹のペンギンが「我に続け！」とばかりに勢いよく海に飛び込みます。そうすると後に続くように次々と仲間の幼いペンギンが飛び込み、餌にありつけるということです。

アメリカでは、このように勇気を持って未知の世界や仕事に飛び込むことを「**ファーストペンギン・スピリット**」というそうです。

これまで、皆さんは日々の生活の中で、「あの場面で勇気を出して話をしておけばよかった」とか「あの時、勇気を出して一歩踏み出せばよかった」など、後悔をしたことはありませんか。「このままでいいや」と、いつも通りの生活を繰り返していると改善や進歩はありません。これから、いろいろな場面において、「ファーストペンギン」に負けない勇気をもって、たくさんの事に一歩を踏み出して欲しいと思います。そして、今まで以上に自分を高め、「将来の夢」の実現に近づいて欲しいと思っています。**日々の生活に流されず、新しい年を迎えるという節目にあたり、「夢」を持ち努力すること**で自分の成長につなげてください。

一日一日を大切に過ごし、3 学期の始業式、1 月 10 日（火）には希望に輝く元気な顔で会いましょう。

こういん や ことし
※『**光陰矢の如し**』

光は日、陰は月のことで、光陰は歳月、時間という意味です。従って、このことわざは、「月日の過ぎるのは、矢が飛んで行くようには早い」というたとえです。そして、「月日はすぐに過ぎ去ってしまい戻ってこないという意味があり、日々を無駄に過ごしてはいけない」ということを戒めています。